



和歌山生協病院附属診療所
透析センターにご相談ください！

透析センター管理担当医から挨拶

和歌山生協病院附属診療所で透析管理をしている岩谷由佳と申します。今回は当院の透析室のご紹介をしていきたいと思います。

当院の透析室は昭和 57 年に開設され、現在は透析病床 21 床(内 3 台がHDF対応可能)、1 回 4～5 時間、(月水金)と(火木土)に分かれて実施し、必要に応じて 5 時間以上の長時間透析も実施しています。透析専門医・腎臓内科専門医が専任し透析毎に回診しています。月 2 回の血液検査、月 1 回のレントゲンなどの検査とあわせて日々の患者さんの状態に応じた透析設定を処方しております。また、月に 1 回定期診察の時間を設け、病状説明や透析に関する指導にあたっています。

シャント造設やシャント PTA などのシャント管理も対応可能です。自宅から診療所までの無料送迎を行っており、ご希望の患者さんには透析後に栄養士が管理した透析食を提供することも可能です。

透析患者さんには感染症や心血管病変、悪性腫瘍などの合併症対策も必要不可欠です。合併症の早期発見や治療につなげるべく、心電図や心エコー、胸腹部CT、腹部エコー、胃カメラなども適宜実施しています。閉塞性動脈硬化症には月 1 回のフットケア、ABI 検査、必要な患者さんには LDL 吸着療法も実施しています。合併症予防に水質も重要であり、日本透析医学会の基準に基づいた厳しい基準をクリアした水を精製し超純水透析を実施しています。

腎臓内科専門医の保存期腎不全外来と連携しており、透析導入前から透析導入、維持透析までの治療が一貫して可能ですし、緊急透析にも対応可能です。内科以外にも、外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科とも連携をしており、維持透析をしながら入院で合併症治療を行うことも可能です。今後も近隣病院の先生方と連携しつつ、腎不全治療に貢献していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。

和歌山生協病院では、「高校生向けの職場体験」を定期的に行っています。
興味のある方は、ぜひ和歌山生協病院までご連絡ください！



高校生一日医師体験

7/27～31、8/3～4 の計 7 日間、夏の高校生医師体験を開催しました。和歌山県内 9 校から 46 名の高校生が参加しました。

日によって体験コースは異なり、リハビリ体験、退院支援体験、ソフト食体験、血液検査体験、診察室体験、血糖値測定体験、血圧測定体験等の体験に加え、院内施設見学、医師・医学生との懇談を行いました。

「病院の中で色々な職種の人達が連携していることを知れてよかった。」「先生の話聞いて、将来の目標のために何をすべきかイメージすることが出来た。」といった感想が寄せられ、有意義な医師体験となりました。参加して頂いた高校生の皆さん、ありがとうございました。



ふれあい看護体験

今年も高校生向けにふれあい看護体験を実施しました。

日程は 8/3(月)～8/5(水)の 3 日間で行い、県外の高校を含めた 11 校から合計 18 名の高校生が参加しました。

プログラム内容は、バイタル測定体験・点滴体験・車いす体験・手術室見学・病棟体験・看護師との交流など多岐にわたります。特に学生に人気のプログラムは、手術室の見学と現役看護師との交流です。「良い経験になった」「看護師になりたい思いが強くなった」などの嬉しい感想がたくさん寄せられました。また病棟体験の中では、入院患者さんに高校生が、看護師がそばについた状態で血圧測定や手浴・足浴を行いました。

参加していただいた高校生の皆さん、ありがとうございました。



高校生薬剤師体験

8 月 5 日、6 日に高校生薬剤師体験を開催しました。最初に和歌山生協病院薬剤課とほのぼの薬局が病院薬剤師、調剤薬局薬剤師のそれぞれの業務の説明をおこないました。参加者はメモを取りながら、うなずきながら、真剣なまなざしで薬剤師の話に耳を傾けていました。

その後、和歌山生協病院とほのぼの薬局を交互に回り、病棟での服薬指導やインスリン手技、自己血糖の測定、注射剤のミキシング、調剤体験、軟膏詰め、吸入薬の操作方法などを体験しました。

最後に少人数に分かれ、薬剤師や現役薬学生を交えての質問や意見交換を行い、受験のこと、大学の選び方、薬剤師を目指したきっかけや、実際の仕事のことなど、時間が足りなくなるほどのディスカッションが続きました。

感想文には「絶対に薬剤師になりたい！」「迷っていたが薬学部を決めた！」「進路を決めるのにとってもいい体験になった！」など、とても前向きな感想を多くいただき、活気ある楽しい薬剤師体験となりました。



「無料低額診療」のご案内

「体調が悪いけれど、医療費の支払いが心配で病院に行けない」

「医師に往診に来てもらいたいけれど、費用面が不安」

——地域で暮らす皆様や、日頃から住民を支えるケアマネジャー、福祉施設職員、医療従事者の皆様は、このようなお悩みや相談に接したことはないでしょうか。

医療費への不安は、適切な治療の継続を阻害し、疾患の重症化や QOL の著しい低下を招く大きな要因となります。当院では、収入の減少や失業、年金の困窮などにより医療費の支払いが困難な方に対し、保険診療の窓口自己負担金を全額免除または一部減免する仕組みである「無料低額診療制度」を積極的に導入・運用しております。制度の利用にあたっては、収入状況の確認や、生活上のお困りごとを聞かせて頂いた上で減免額を審査致します。また、その他利用可能な公的サービス等の提案も併せて実施致します。

医療を受ける権利は、すべての人にあります。地域の皆様におかれましては、ご自身やご近所で「受診控え」等お困りの方がいらっしゃいましたら、一人で抱え込まずに当院までお気軽にご相談ください。

医療費の支払いでお困りの方は、ご相談ください。
地域で困っている方がいたら、ご紹介ください。

無料・低額診療のご案内

▶ **誰もが平等に受ける医療を**
誰でも医療を受ける権利があります。収入が少なくても、必要な医療を受けたいという希望は、収入の多寡にかかわらず同じです。医療費の支払いが困難な方に対し、医療費の一部を免除または減免し、必要な医療を受けられるようにします。

▶ **無料低額診療とは**
市町村が運営する医療機関において、収入が少なくても必要な医療を受けたいという希望は、収入の多寡にかかわらず同じです。医療費の支払いが困難な方に対し、医療費の一部を免除または減免し、必要な医療を受けられるようにします。

▶ **対象となる方**
収入が少なくても必要な医療を受けたいという希望は、収入の多寡にかかわらず同じです。医療費の支払いが困難な方に対し、医療費の一部を免除または減免し、必要な医療を受けられるようにします。

▶ **生活と一緒に進めよう**
収入が少なくても必要な医療を受けたいという希望は、収入の多寡にかかわらず同じです。医療費の支払いが困難な方に対し、医療費の一部を免除または減免し、必要な医療を受けられるようにします。

利用するには
1. 収入が少なくても必要な医療を受けたいという希望は、収入の多寡にかかわらず同じです。医療費の支払いが困難な方に対し、医療費の一部を免除または減免し、必要な医療を受けられるようにします。
2. 収入が少なくても必要な医療を受けたいという希望は、収入の多寡にかかわらず同じです。医療費の支払いが困難な方に対し、医療費の一部を免除または減免し、必要な医療を受けられるようにします。
3. 収入が少なくても必要な医療を受けたいという希望は、収入の多寡にかかわらず同じです。医療費の支払いが困難な方に対し、医療費の一部を免除または減免し、必要な医療を受けられるようにします。

和歌山中央医療生活協同組合
和歌山生協病院
和歌山生協病院小児科診療所
TEL(073)423-4349
TEL(073)471-7711・8171 河内診療所 TEL(073)451-8177

病児保育室【くじらっこ】をご存じですか？

病児保育と聞くと「どんな風に過ごすの？」と不安を感じる方もいらっしゃるかもしれません。

当室は、お子さまの病気やケガの時はもちろん、「登園・登校できなくもないけれど、念のためにまだ様子を見たい」という病後児もお預かりする場所です。感染症対策を徹底した環境のもと、一人ひとりの体調に合わせて丁寧に対応いたします。



開室からまもなく1年。一番大切にしているのは、お子さまが無理なく安心して体を休められること。小児科併設ならではの強みを活かし、医師や看護師、保育士がタッグを組んで見守ります。おうちの方と離れて不安なお子さまの心に寄り添い、スタッフ一同、笑顔いっぱい心を込めてサポートいたします。



※ご利用方法など、詳細は和歌山生協病院ホームページをご覧ください。 場所:和歌山生協病院 小児科棟2階

病院の理念 いつでも、どこでも誰もが安心できる よりよい医療と福祉をめざします

基本方針 ◇私たちは非営利、協同の組織です。

◇人権を守り、共同の営みの医療と福祉をすすめます。

◇地域住民や関係機関と連携をすすめ、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます。

◇専門職として安全、倫理、共同の営みを軸とした医療・介護の質の向上を追求します。

◇地域まるごと健康づくりをすすめます。

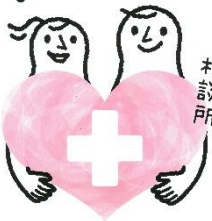
◇憲法と平和を守り、医療・福祉制度を良くする運動に取り組みます。

*差額ベット代はいただいております

医療「介護」
「治療費」等で
お困りの方は
ご相談ください

いのちの
相談所

民医連



和歌山生協病院
サポートセンター

(代表)073-471-7711
(直連)073-473-2088

休業や解雇などで経済的に困窮している、通院ができない、介護サービスを受けられないなど
お困りのことがあれば気軽に相談してください。



医療費の支払いでお困りの方は、ご相談ください。
地域で困っている方がいたら、ご紹介ください。

無料・低額診療のご案内



▶ **誰が世帯に於いて医療費**
を自己負担する必要があるのか、申請の
いまだに不安な方、申請は医療費でなく
実費、という方

▶ **無料・低額診療事業とは**
上記に該当する方が医療費の負担として
ないで、医療サービスを受けることができる
という制度。申請が認められれば、医療費
として、税金負担として申し込む必要が
なく、医療機関に申し込むだけで済みます。
※医療費助成制度と重複して利用できます。
※申請が認められれば、医療費が無料です。

▶ **医療費を自己負担しない方**
上記に該当しない方でも、医療費の自己
負担がない方、つまり、健康保険の「タテ
をき」がない方

利用するには

↓

「世帯の医療費が自己負担がある」とい
う方の認定を受ける必要があります。

↓

自治体の職員が、お住まいの市役所・区役所へ
お越しください。

↓

申請が認められれば、医療費が無料、実
費として医療機関へ申し込む必要がな
くなります。



和歌山中央医療生活協同組合

和歌山生医協
和歌山生医協和歌山中央医療生活協同組合
TEL 073-471-7711・8171

生協和歌山支所 TEL 073-423-4349
和歌山支所 TEL 073-471-6517

＜実績＞ ※病院と附属診療所の合計

2026 年 7 月 紹介率 9.2% 逆紹介率 38.4%

2026 年 7 月 平均入院患者数 153.5 名/日 平均外来患者数 169.2 名/日 訪問診療延件数 341 件
時間外受け入れ 181 件 救急車受け入れ 127 件

診療案内

受付時間 午前診 8:00～11:30 夜診 16:30～19:00

生協病院附属診療所

	午前						午後		夜診		午前開始 調整可能
	内科		外科	皮膚科	小児科	整形外科	特診	小児科	内科	小児科	
	新患	予約					予約	予約			
月	細部 福島 出口(9時半 から)	小西 福島 藏本	田端	瀧脇(1.3週) 川端(2.4週)	佐藤	平井	三谷 松岡	神経 発達	小西 畑(喘息)	佐藤	○
火	小西 細部 平本	古田 三谷 出口	上垣内	—	佐藤	久保	土生 坂口(糖尿) 藏本(リウマ チ・膠原病)	アレルギー 特診	—	—	○
水	小西 細部	内田	田端	—	佐藤	—	—	神経 発達	小西 松岡	細部	○
木	小西 細部(10時 まで) 出口(9時半 から)	古田(第1・3) 土生	上垣内	辻岡	佐藤/細部	—	古田 (心臓特診 第2・4)	—	—	—	○
金	内田 細川	小西 古田 坂口 藏本	田端	—	佐藤	—	福島(脳神 経内科)	予防 接種	特診予約 (第2・4) 土生 交代診療	佐藤	○
土	外来 診療	—	—	—	一般外来 (不定期)	—	—	—	—	—	○

生協病院

	午前		午後
	内科	小児科	内科
	予約		予約
月	—	佐藤	土生 (第4)
火	畑	佐藤	—
水	畑	佐藤	—
木	—	佐藤/細部	—
金	—	佐藤	畑 (喘息特診)

※病院内科は完全予約制
※病院小児科は予約優先